

【親友が一か月後に転校する】と知ってから、その日まで。
友情と恋と、その日までの締め切り。

1月

○学校

A子のところにB子が「部活さぼって付き合っ」と誘いに来る。
近所のセブンでアイスなどを買って（「冬場のアイスがいいんだよ」とB子は笑う）、
しょぼいデパートに行く。
そこは、屋上遊園地があるような古い百貨店。

○デパートの屋上遊園地

「観覧車に乗りたい」とB子。小さくてぼろくて狭い観覧車。
てっぺんに来たところで、「私、転校することになった」とB子から打ち明けられる。

あと一か月でB子はいなくなる。
「それまで楽しくやろうぜ。それが私たち」とA子は言う。

○学校の帰り道

サッカー部のイケメン先輩C男。
A子とB子がうしろから追っかけてきて、
二人同時に「好きです！ 付き合ってください！」
と告白。「??？」
「これから一か月、私たちは勝負をすることにしました。つきましては、
私たち二人ともC先輩が好きなので、どっちかに決めて頂くと幸いです！」と宣言。
「意味分んねえ」とC男。
A子とB子は坂道を駆け下りてゆく。
こうして私たちの、一か月限定のセッションがはじまった。

ときめきは、すぐそばに。 セブンイレブン。

2月

A子はC男と鎌倉の海でデート。

B子はC男と浅草でデート。

「肉体的接触は禁止」のルールのもと、A子とB子はC男とデート勝負だ。

セブンで買おうとするC男の好みをB子は先回りしてかごに入れる。

A子とのデートでA子もそれをやろうとすると、「それ、B子もやったんだよね」と言われて、少し傷つく。

「試合後の先輩にタオルとスポーツドリンクを渡す」という「前からやってみたかったこと」をやる。それはセブンで買ってきた新商品。「被った」とA子とB子は笑う。

ときめきは、すぐそばに。 セブンイレブン。

デパートの屋上遊園地で、二人は「負けないからね」という。

B子の転校まであと10日。二人は少し無言になる。

3月

B子の転校する県に、先回りしてA子とB子は二人旅をすることに。

沢山話をした。C先輩のことはあえて触れずに。

その駅の近くに空き地があって、A子は「タイムカプセル埋めようぜ」という。

「いつか、掘り返そう」と約束する。

転校するその日、ホームでの別れ。

C男が見送りに。A子とB子のどちらかを今日選ぶのだ。

C男はB子を選ぶ。B子はぼろ泣きする。でもA子は泣けなかった。

帰りに一人でセブンでアイス買って食べ、

頭がキーンってなって、突然ぼろぼろと涙が出てくる。

新学期。桜咲く帰り道で、B子にラインしているC先輩に話しかけるA子。

「あれがなかったら、私今でも先輩に気軽に話しかけられなかった」と笑う。

セブンでアイスを買って出てきたA子。B子から「ずっと親友」とラインが来る。

「当然」と返して、アイスで頭をキーンとさせながら、A子は走ってゆく。

ときめきは、すぐそばに。 セブンイレブン。

企画意図

「死ぬまでにしたい10のこと」と同じ構造です。「親友が転校する（＝突然締め切りを切られた）」という状況で、やりたかったこと、普段なら恥ずかしくてできなかったこと、勇気がなくてやろうとしなかったことに、どんどん前向きに挑戦できるという話です。

大人たちは高校はたった三年しかない、締め切りのあるものだ知っているけど、党の高校生は青春の時間なんて無限にあると思っている。そんなギャップを狙いたいです。

高校生といえば、友情と恋（と部活と勉強）なので、今回は友情と恋をメインにしました。第二話は「やりたかったことをやる」パートなので、他の何かを入れてもいいと思います。

中心になるコピー「ときめき」を広く解釈しました。なんか人生いろいろあるけども、「日々の心がちょっと上向きになること、みずみずしくなること」くらいに考えています。

何かあったことだけが重要じゃなくて、人生はまだまだ続いていく。ちょっと成長した、そのことこそが、ときめきなんだと思います。

※各話で伏線を仕込んで、驚きをつくって、かつ三話で構成ごと驚きをつくるような、どんでんタイプの構成は、このネタでは難しいと思いました。ときめきと驚きが遠いと思いました。なのでスタンダードな構成としています。ちなみにアイスはB子の好物で、最後にA子が食べるアイスは同じものです。

異世界転生したら恋がうまく行った件。
トラックにひかれた女子高生は、左右が反対の世界に転生。
でもそこでは恋が上手く行って……？

1

薙刀部のA子。
部活終わりにセブンによると、憧れの剣道部の先輩Bさんに遭遇。
レジでたまたま隣になり、同じものを買うという偶然。しかし勇気がなく話しかけられない。

結局タイミングを見失ったまま、先輩は自転車で帰ってしまう。
背中を見送りながら信号を渡ると、トラックが暴走してきて轢かれてしまう。

意識を取り戻すと、トラックは去っていった。
あれ？ 死んだんじゃないの？
もとのセブンの前の通りの……
あれ？ 左右が全部反対になっている？ 文字も反対に。左側通行が右側通行に。

今ちょうど、先輩がセブンについたところ。
よくわからないまま、とりあえず先輩と同じものを買って、レジで勇気を出して、
「先輩もこれ好きなんですか？」と話しかけることに成功。

駐車場で、二人でちょっとおしゃべりができた。部活のこと。試合のこと。
「で、ちょっと変な話していいですか」
「？」
「文字ってこんな感じでしたっけ？」
「??」
「なんか全部左右が反対になっているように思えるんですが」
「前からこうだけど？」
「あ、いや、すいません、今日は帰ります。先輩とおしゃべり出来てよかった」
帰ろうとすると、先輩が「君の型のフォーム、いつもきれいだと思ってみてたよ」と。
「は、話しかけてよかった……！」

ときめきは、すぐそばに。 セブンイレブン。

「ていうか、さっききみトラックに轢かれなかった？」 つづく。

2

その場は「轢かれかけたけど、大丈夫でした！」と取り繕って逃げる。

親友のC子に助けを求めるA子。

どうやらトラックに轢かれて、左右が反対の異世界にきてしまったようだと言明する。

話を総合するに、この世界は左右が反対なだけで、まったく前の世界とは同じっぽい。

「じゃあ、こっちの世界のA子はある世界に行ったの？」とC子。

部活。

薙刀部は女子だけだが、道場の半分は剣道部。

B先輩が端にいて、目があって、笑いかけてくれた。

しかし稽古をすると、左右の持ち方が逆で違和感があり、ついもとの構えにするA子。

「逆持ち！」と師範からは怒られるが、逆持ちに慣れていない相手は戸惑い、A子は一本取る。突然強いと認定されるA子。

部活帰りのセブンで、B先輩が待っていた。

すごいじゃん、と言われ、またおしゃべりできた。

「日曜何してんの？」と聞かれ暇ですというと、「ちょっと買い物付き合っよ」といわれる。これってデート？

ときめきは、すぐそばに。 セブンイレブン。

だがセブンのガラスに映った自分にびっくりする。

鏡に映ったのは、元の世界に行った、もう一人の自分！。

「あんたのせいでひどい目にあっただけど！」 つづく。

3

鏡に映ったもう一人と話すA子。

「あんたのせいで左右あべこべになって大変なんだから！」

「こっちもよ！ でも薙刀は逆構えで強い扱いされたでしょ」

「それはそう」

「こっちではB先輩とうまくいってるんだ」

「こっちでは一度も喋ってないのに。いったいどうやって？」

「簡単よ。なんでもいいから、話しかけるの」

「？」

「いいからやってみ」

日曜、B先輩の好きなものは全部分っていたので、いい雰囲気になり、デートは大成功。信号を渡ろうとすると、先輩にぐいっと腕をひかれる。はずみに先輩の胸の中へ抱かれる。「え？先輩？」と、車が曲がってきた。右側通行の世界だったことを忘れていたのだ。「危なっかしくて、見てらんねえよ」慌てて離れる。

今日はほんとうにいい日だった。こっちの世界も悪くないか、と思う。

セブンに寄ると、もう一人のA子がまた映っていた。

「今日も話しかけられなかった」

「ダメ元で、たとえダメでも明日また何かしたらいい。何がうまくいくかなんてわからないんだ。毎日が、チャンスなんだよ」

帰ろうとすると、また右側通行を忘れていて、トラックに轢かれてしまう。

しかし元の世界に戻っていた。帰れたのだ。

次の日。

B先輩が買うものを先にカゴに入れて、セブンで待つA子。

店内の鏡を見ると、向こうの世界のA子が見ている。

見てろよ、とアイコンタクトして、レジ前で、勇気を出して先輩に話しかける。

ときめきは、すぐそばに。セブンイレブン。

企画意図

流行りの？異世界転生ネタです。

左右反転世界にしたのは、ラストのトラックに轢かれるアクシデントをつくりやすいことと、左右反転で有利になる部活ありきです。その二つが使えれば、他の組み合わせでもいいかもしれません。

これもやり直し系のストーリーで、「異なる世界にすることで、勇気が出る（旅の恥はかき捨て）」ということを使ったストーリーです。

チャンスは毎日転がっている、というテーマなので、ごく身近な小さい話になると思います。「ときめきを、すぐそばに。」の身の丈に合った話かもしれません。

構造的には毎回ラストの引きを強くすることで、次の話も楽しみになる仕掛けです。

ちなみに偶然二人が買う同じものは、B先輩のイメージと異なるスイーツがいいかなと思っています。ホットスナックとか、毎回違うものだと絵変わりがあるかも。